

編集後記

本号は、石井久雄教授退職記念号として、論文・資料・国語教育を含めて二二編を収録することができた。教員は現スタッフ全員が執筆し、大学院生や修了生の方々にも多くの投稿をいただき、充実した紙面になったと思う。石井先生ともに長年にわたって研究教育に当たってきた教員が全員執筆したのみならず、先生の薫陶を受けた学生からも多くの投稿を得られたことは先生のお人柄によるところであろう。

昨今は、文系分野の研究環境悪化が言われる中で、日本文学や日本語の研究は、微妙な立ち位置にある。多くの大学の組織再編の中では国文学科の研究分野が他分野と必ずしもよい形ではない、「融合」を遂げ「埋没」していく姿も見られる。そのような風潮に流されず、日本文学や日本語の研究活動をいっそう充実させていくことが現スタッフの使命であろう。本誌は、ペテラン研究者のみならず、若い世代の意欲的な研究論文の投稿をお待ちしている。本誌は投稿論文に対する査読を行っているが、会員諸氏におかれては、研鑽を積み重ね今後も多くの投稿をお願いする次第である。

投稿規定

国文学会機関誌『同志社国文学』は会員諸氏の研究発表の場であり、進んでご投稿ください。枚数は手書きの場合、四百字詰原稿用紙三十五枚程度（注や図版を含む）。ワープロの場合は、A4ヨコ用紙縦書き三十字三十二行、二十三枚程度とします。投稿時には、論文二部（一部コピー可）を送ってください。掲載の場合は、可能な方は論文の電子データの提出をお願いします。また、左記のホームページから「内容記述シート」をダウンロードして、以下の内容を記載して提出してください。

① 英文タイトル
② キーワード（五つ以内。日本語を原則としますが、他言語と併記する場合は〈電子図書館、digital library〉のように、〈 〉で括弧してください）
③ 日本語要旨（二百字）（希望者のみ）

「内容記述シート」ダウンロードページ
<http://library.doshisha.ac.jp/tr/guide/guide.html#guide04>

※ 同志社大学リポジトリへの登録手続き／4. 登録手順／(2) 内容記述シートの記入／内容記述シート [Excel 40KB]・[Text 685B]

内容記述シートの記入方法 [PDF 285KB] を参考にして下さい。

第八十五号の締切は二〇一六年九月末、第八十六号の締切は十二月十日厳守。ただし、掲載論文には限度がありますので、論文の採択は編集委員に一任してください。採否の問い合わせには応じられません。

なお、本誌に掲載された論文の複製権、公衆送信権は同志社国文学会の許諾に委ねるものとします。

※ 第六十七号より、『同志社国文学』は同志社大学学術リポジトリに登録されています。その検索上の便宜のため、投稿時に右の①②を添えていただくことになりました。